



産業廃棄物処理計画書

平成 24 年 6 月 20 日

大分県知事  
広瀬 勝貞 殿

提出者

住所 大分県中津市大字昭和新田1番地  
氏名 ダイハツ九州株式会社  
代表取締役社長 越田 幸男

電話番号 0979-33-1240

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ダイハツ九州大分(中津)工場
事業場の所在地	大分県中津市大字昭和新田1番地
計画期間	平成 24年 4月 1日 ~ 平成 25年 3月 31日 迄
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E-31 輸送用機械器具製造業
②事業の規模	6,000 百万円
③従業員数	3,231 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙、1 参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙、2 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（                      年度）実績】

産業廃棄物の種類

別紙、3 参照

t

t

②計画

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
種類：別紙、1参照  
取組：別紙、3 これまでに実施した取組 参照

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
種類：廃油  
取組：油水分離による一部有償化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	<b>【前年度（ ー 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	<b>【前年度（ ー 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ー t	ー t
(これまでに実施した取組) _____			
②計画	<b>【目標】 ー</b>		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ー t	ー t
(今後実施する予定の取組) _____			

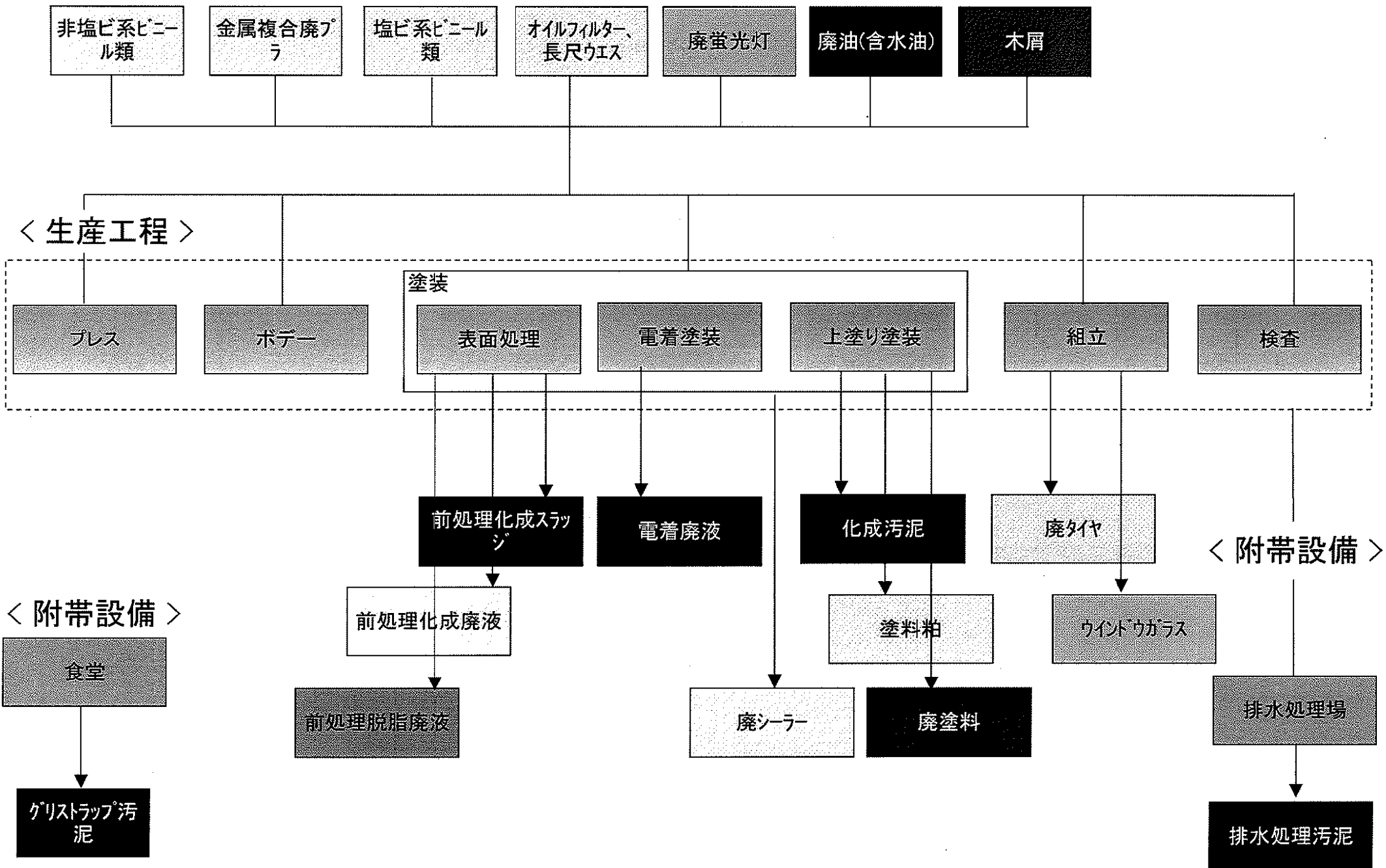
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) _____		

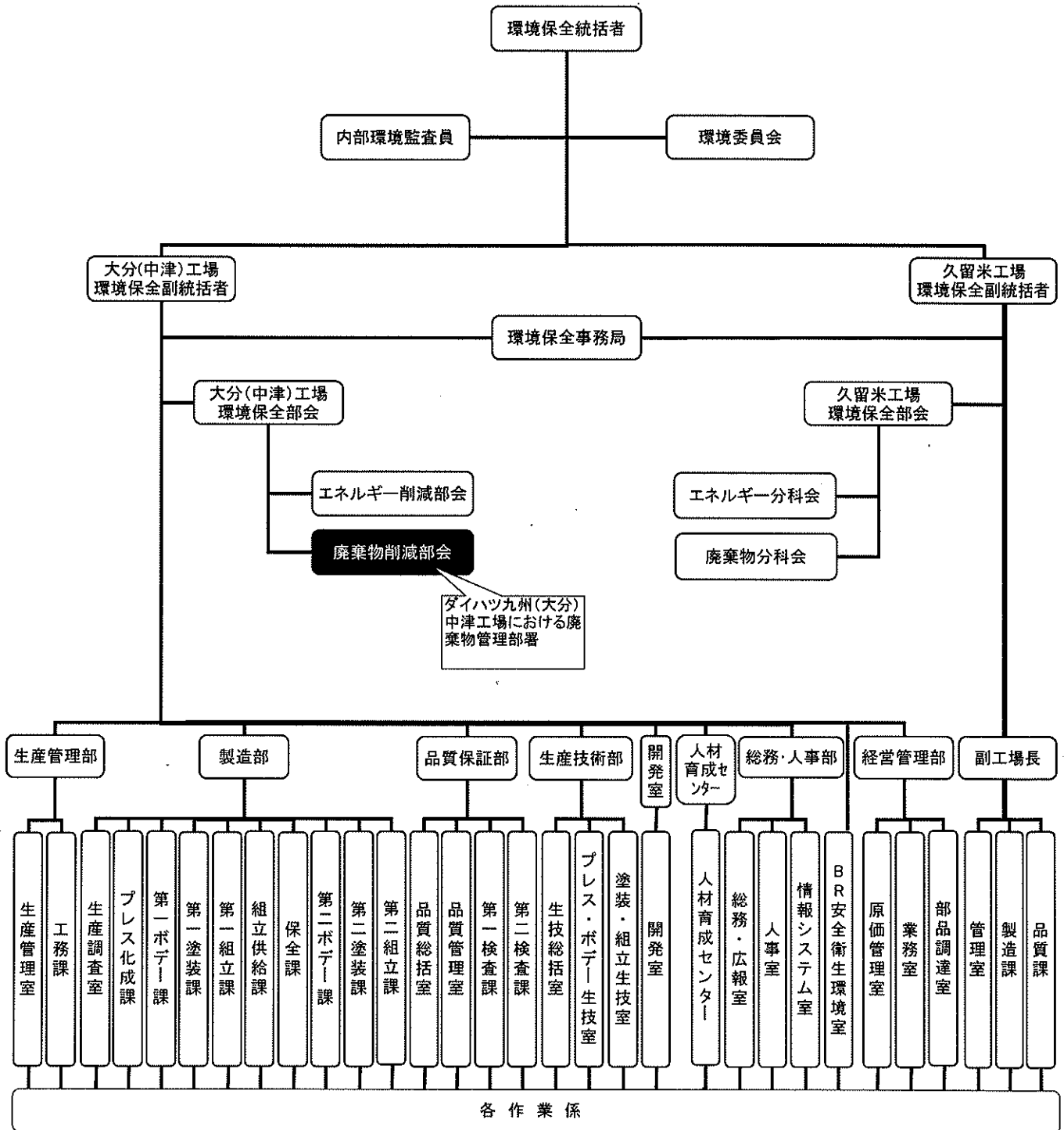
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
<div data-bbox="363 1115 1252 1720" data-label="Image"> </div>			t
			t
			t
			t
			t
			t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	別紙、4 参照		t
			t
			t
			t
t			
※事務処理欄			



# ダイハツ九州(株) 環境マネジメントシステム組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度（2011年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	排出量	2,226t	899t	18t	697t	226t	175t	7t
	(これまでに実施した取組)							
	汚泥	・ 前処理化成スラッジの減水化						
	廃プラ	・ 金属複合廃プラの分別徹底による発生量削減						
	廃油	・ 塗装ロボット塗着効率改善による廃塗料発生抑制						
②計画	【目標】 廃棄物発生量 台当り原単位 1%削減							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	排出量	2,480t	1,001t	20t	776t	252t	195t	8t
	前提条件 2011年度生産台数 41.6万台 2012年度（生産予測値） 46.8万台 削減目標 台当り1%削減							
(今後実施する予定の取組)								
	汚泥	・ 排水処理汚泥の凝集剤使用量見直しによる減量化						
	廃プラ	・ 金属複合廃プラの分別徹底による発生量削減						



産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度(2011年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	全処理委託量	2,226t	899t	18t	697t	226t	175t	7t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	13	642t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,226t	541t	t	55t	226t	175t	7t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	227t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	131t	5t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マテリアルリサイクル処理業者、サーマルリサイクル処理業者への委託</li> <li>・委託業者現地確認実施</li> </ul>								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	ガラス屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	木くず
	全処理委託量	2,480t	1,001t	20t	776t	252t	195t	8t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	14t	715t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,480t	603t	t	62t	252t	195t	8t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	253t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	145t	6t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マテリアルリサイクル処理業者、サーマルリサイクル処理業者への委託継続</li> <li>・委託業者現地確認の継続実施</li> <li>・電子マニフェスト導入による処理状況相互確認の徹底</li> </ul>								